

REPORT

ホームページ情報

医療法人共和会では、この度ホームページをリニューアルしました。今回のリニューアルでは、ホームページをご覧いただく方が目的のページにアクセスしやすいよう、サイトの構成を整理しました。さらに、当法人のリハビリテーションの特徴をご案内するページも新たに作成しました。法人全体で「その人らしさ」を支え「つながり」を支援するリハビリテーションを大切にしており、その取り組みを感じていただけるような内容となっています。また、自動車運転や就労の再開を目指した社会復帰支援についても掲載していますので、ぜひご覧いただければと思います。今後もホームページやSNSの運用などについてより一層の内容充実に向けて参りますので、よろしくお願いたします。

医療法人 共和会 ホームページ
<https://www.kyouwakai.net/>



人事のお知らせ

令和6年4月に連携室のメンバーが入れ替わり、新体制となりました。今後とも地域の医療機関との顔の見える連携を行っていきます。よろしくお願いたします。



◆当院へのアクセス

JRの場合

「南小倉駅」(日豊本線・日田彦山線)より片野方面へ徒歩10分

バスの場合

「木町二丁目」バス停(セブンイレブン前)より小倉南区方面へ徒歩10分

都市高速の場合

「紫川IC」清水方面車線出口よりすぐ右側

カーナビでお越しの際は、

NAVI 北九州市小倉北区篠崎1丁目5-1と入力してください。



KR 医療法人 共和会

小倉リハビリテーション病院 / 介護老人保健施設 伸寿苑 / 共和会地域リハビリテーションセンター

TEL.093-581-0668 (代表) FAX.093-581-3319 (共通)

〒803-0861福岡県北九州市小倉北区篠崎1丁目5-1 <http://www.kyouwakai.net> 共和会 検索

公式SNSで情報配信中!



Careline

KYOUWAKAI Press
 「ケアライン」2024 夏号 / 暮らしの基盤づくり...テクノエイドセンターの役割

○発行
 医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 連携広報部 井上崇

Careline

KYOUWAKAI Press ケアライン

2024

夏号

特集 暮らしの基盤づくり...テクノエイドセンターの役割

REPORT ホームページ情報



祇園太鼓が響き小倉の街も夏本番...

早いもので今年も半年が過ぎ暑い夏がやってきました。小倉の街では祇園太鼓の音が響き夏本番を感じます。さて今春、共和会では職員の制服が変わりました。看護・介護職員はこれまで同様に白が基本ですが、老健やリハスタッフはブラウン系の制服となり院内の雰囲気も随分と変わりました。そしてこれを機にホームページも4年ぶりにリニューアルしました。「地域に根ざして60余年...」法人の歴史から運営の柱であるリハビリテーション機能までを紹介しています。ホームページの紹介カードも同封していますのでご覧ください。また今号のケアライン夏号では在宅部門である地域リハビリテーションセンターのテクノエイドセンターを紹介しました。同センターが設置されて四半世紀...、病院からの退院患者や広く地域の皆さんにとって暮らしの基盤づくり”となるよう取り組んでいます。今回はそうした活動を紹介します。ご一読頂ければ幸いです。

令和6年7月 医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 連携広報部長 井上崇



くらしの基盤づくり...テクノエイドセンターの役割

南小倉地域リハビリテーションセンター
テクノエイドセンター 相島 佐智子(看護師)

南小倉テクノエイドセンターは、どなたでも福祉用具を「見て・触れて・試して」選べる場所として、小倉リハビリテーション病院内に設置されています。地域住民のできるだけ身近なところで、気軽にテクノエイドに関する展示から相談、販売に至るまで一貫した対応を目指しています。現在、月平均約200人の相談に対応しています。



1 テクノエイドとは

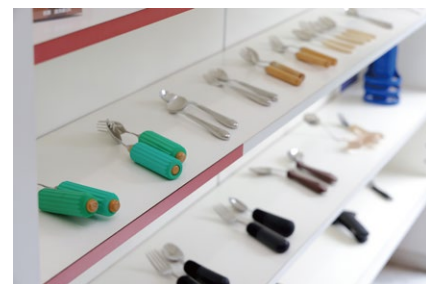
テクノエイドとは、高齢者や障害者、要介護者などその方の疾患や活動の特性に合わせて、「したい暮らし」を支えるための福祉用具、住宅改修等の相談実施にかかわる支援機能です。日常生活を安全・快適に過ごすための生活環境を補い、ご本人の自立と、介護者の負担軽減を図ります。福祉用具には、車椅子などの移動を支援するもの、手すりや介護ベッド、リフト、コミュニケーションツール、自助具など様々なものがあります。その方の身体機能、生活環境、介護者の状況、地域とのつながりや活動範囲などからの確に評価され、適正な選定が求められます。



2 くらしの基盤づくり

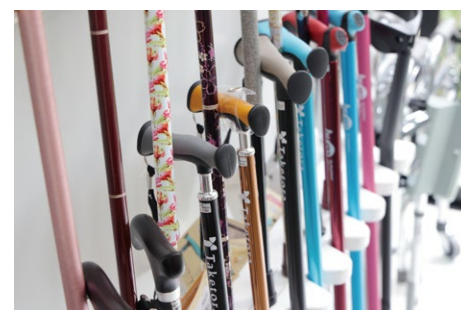
ご入院された患者様やご家族が、職員に案内されて当センターを見学され、はじめてみる福祉用具の数々を興味深くご覧になられます。

治療経過に合わせて早い段階から実際の福祉用具に触れる機会を作ることで、退院後のくらしと一緒に創造し、支援するチームの一員として具体的に考えていけるように関わっています。こうした関わりが、退院後の安心に多少なりともつながると考えています。



3 用具の選定と専門職との連携

福祉用具の選定にあたっては、リハ専門職と福祉用具専門相談員等と連携を図りながら、必要性の判断、用具の選定、適合を行います。利用される方は、身体状況や生活環境、介護者の状況などさまざまであり、適切な用具は異なります。一律に対応するのではなく、個性性を重視した対応ができるように努めています。



4 商品と販売

当センターでは、杖や歩行器、車いす、介護ベッド、入浴用品、食事用品など約500点の福祉用具を展示しています。福祉用具は毎年新しい商品が開発されています。常に最新の情報を入手し、展示品の入れ替えや販売に難しさはありますが、当センターでは、アビリティーズ・ケア・ネット株式会社の協力を得て、新商品の紹介や商品の取り扱い、販売をタイムリーに行えるよう体制を整えています。また必要に応じて、カタログ内の試用品を取り寄せた体験評価も行っています。実際ここで試したものが、在宅でもスムーズに利用できれば、ご本人やご家族の安心につながると思います。



5 展示スペースのこだわり

介護用品というとなんだかネガティブなイメージを持つ方も多いのではないのでしょうか。しかし、今は優れた用具が多く、またカラフルでおしゃれなものも増えています。当センターは、白を基調とした明るい雰囲気スペースを設け、居心地のよい空間が作れるようこだわっています。入り口で一番目に飛び込むのは、歩行や外出をサポートする移動用具です。活動性の低下は、廃用症候群を生じやすくなり、寝たきりの原因となります。明るい気持ちで安心して出かけられるよう、使いやすく素敵な用具を揃えていきたいと考えています。



6 地域の中のもっと身近なセンターへ

誰もが気軽に相談できるセンターとして、地域の住民や関係機関のみならずからの信頼を得られるよう定期的な情報の発信や丁寧な対応に今後も努めていきたいと思っています。